

文由縁都併

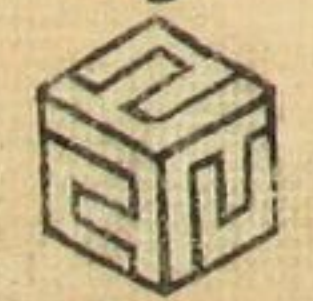
十五編上

錦昇堂新様



水木辰之助が鎗踊猫の所作へ醒齋翁の奇跡考小粗所見師の戯作扇猫
 骨小御所櫻のされ雖有女三宮の猫小因たる今源氏六十帖と号傳奇小姫
 松媛一扮して猫乃所作有一更々記さるれば幸に本編小拾て些趣向の助と
 先其興さら小雖不有彼六十帖へ元禄八年皇都四條萬太夫が戯場の春演
 戯めて近松巢林子此新作又此俳優へ再其頃大江戸小出此戯を演し口と知れ
 同十年刊行せし戯子評書訓蒙図彙小此人の藝何をさしてもこつらゆい
 程上手さるらひ鎗踊小譽をたたく土佐與兵衛が板行して弘めたるがや一
 方の奥さるる草紙むくく鎗とりのゆけのこ其外浅草観音の前小水木
 辰之助京土産源氏玉手箱と着版と打焦摺の菅管大分賣とて銀利市たるも
 水木殿の御蔭ふゆらまを。ねらひゆらまをふとをあるはたる源氏の由縁小相小肖く
 此本小賣と流行よと請祈ども水木が愛形小比て其くら島が玉手管開
 悔一と思念行んると背小汗を流して書まへ
 己未春新販繪草紙 己年の土用半ゆらん

柳亭種秀





紅藍夫人病後沐髮あひらるるころ
 け上
 きえる酒やあきさなふちの
 赤のかるちり
 赤氏
 ちりあはるるあはるるあはるる
 なるあはるるあはるる

曲も周也





曲多因空

御水臺
猫の所作
仕奉る



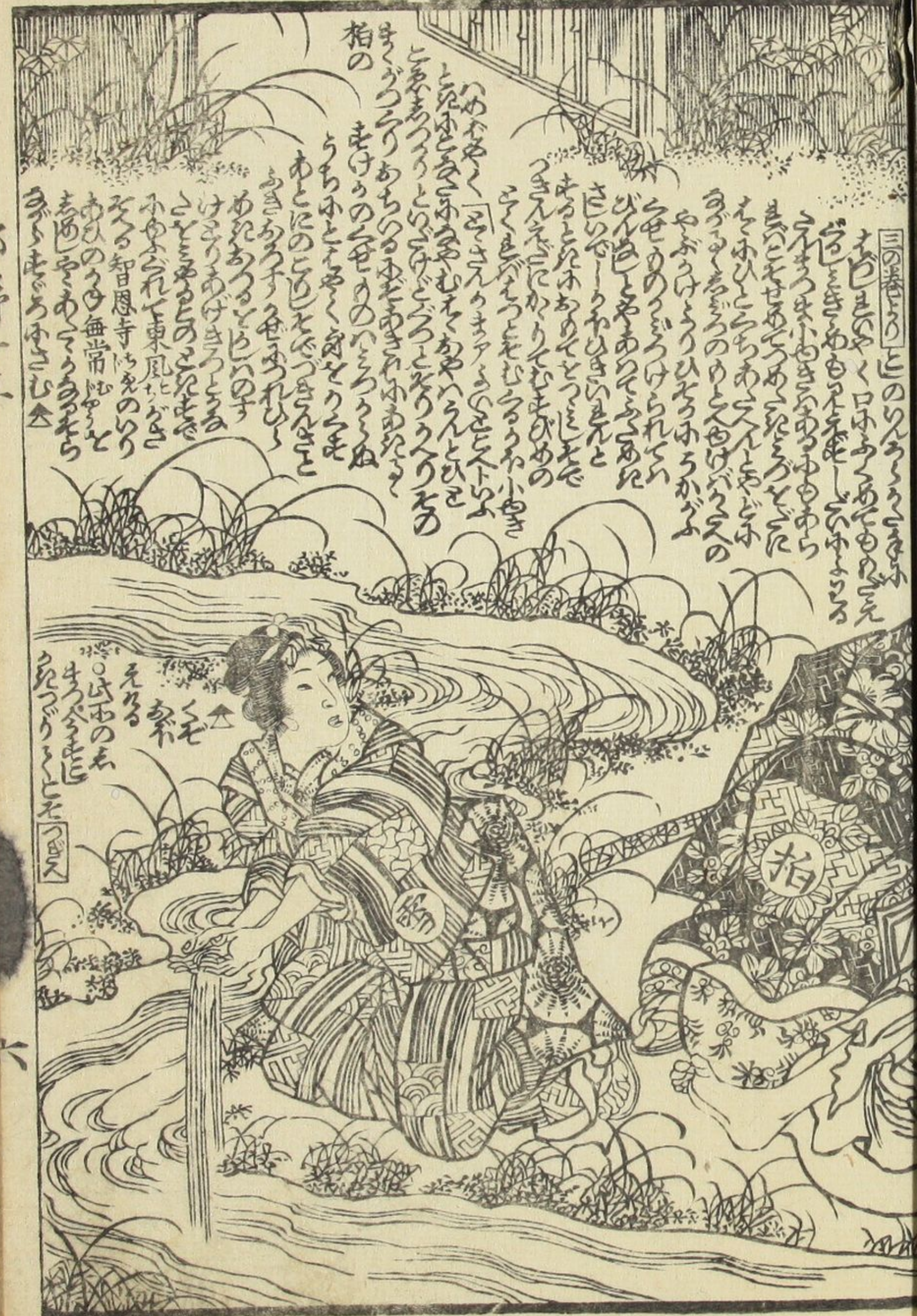
花陰間卧小於
菟堂上翫
能錦繡鋪放
下珠簾春不
管隔籠鸚鵡喚
狸奴 頰臉猫回
抑貫

水木
辰之助門人
小辰女
六條巽町の



上
下
この世は人の世なりて
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ

上
下
この世は人の世なりて
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ



上
下
この世は人の世なりて
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ

上
下
この世は人の世なりて
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ
あはれなるものぞ

これと云ふは... 正月廿日... 花の... 人... 物...



左の... 右の... 花の... 人... 物... 物...

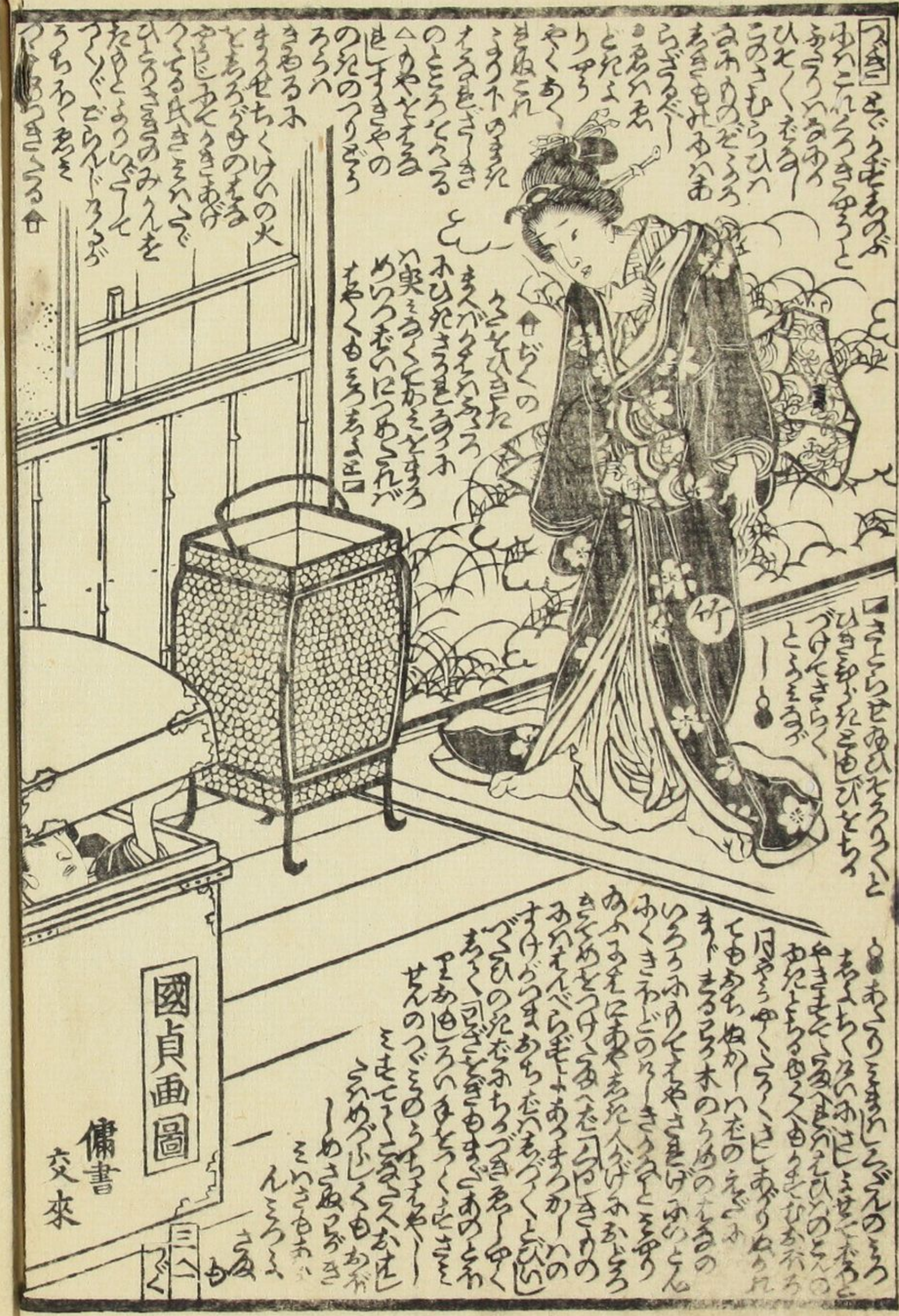


左の... 右の... 花の... 人... 物... 物...

これと云ふは... 正月廿日... 花の... 人... 物...



左の... 右の... 花の... 人... 物... 物...



其由縁鄙俤

十四編
十五編
十六編

笠亭仙果著作
梅蝶樓國貞画

錦昇堂藏板略目録

十勇士尼子の礎

三編 為永春水作
四編 一壽齋國貞画

雨夜鐘四谷雜談

五編 河竹其水作
六編 歌川國貞画

比奈乃都大内譚

初編 笠亭仙果作
二編 一勇齋國芳画

地本繪草紙問屋 江戸よりあり町 惠比壽屋庄七板

國貞画圖

備書
交來

貞画

十五編下



仙果作

外題要國画

仙果作
 貞画
 十五編下
 外題要國画
 仙果作
 貞画
 十五編下
 外題要國画

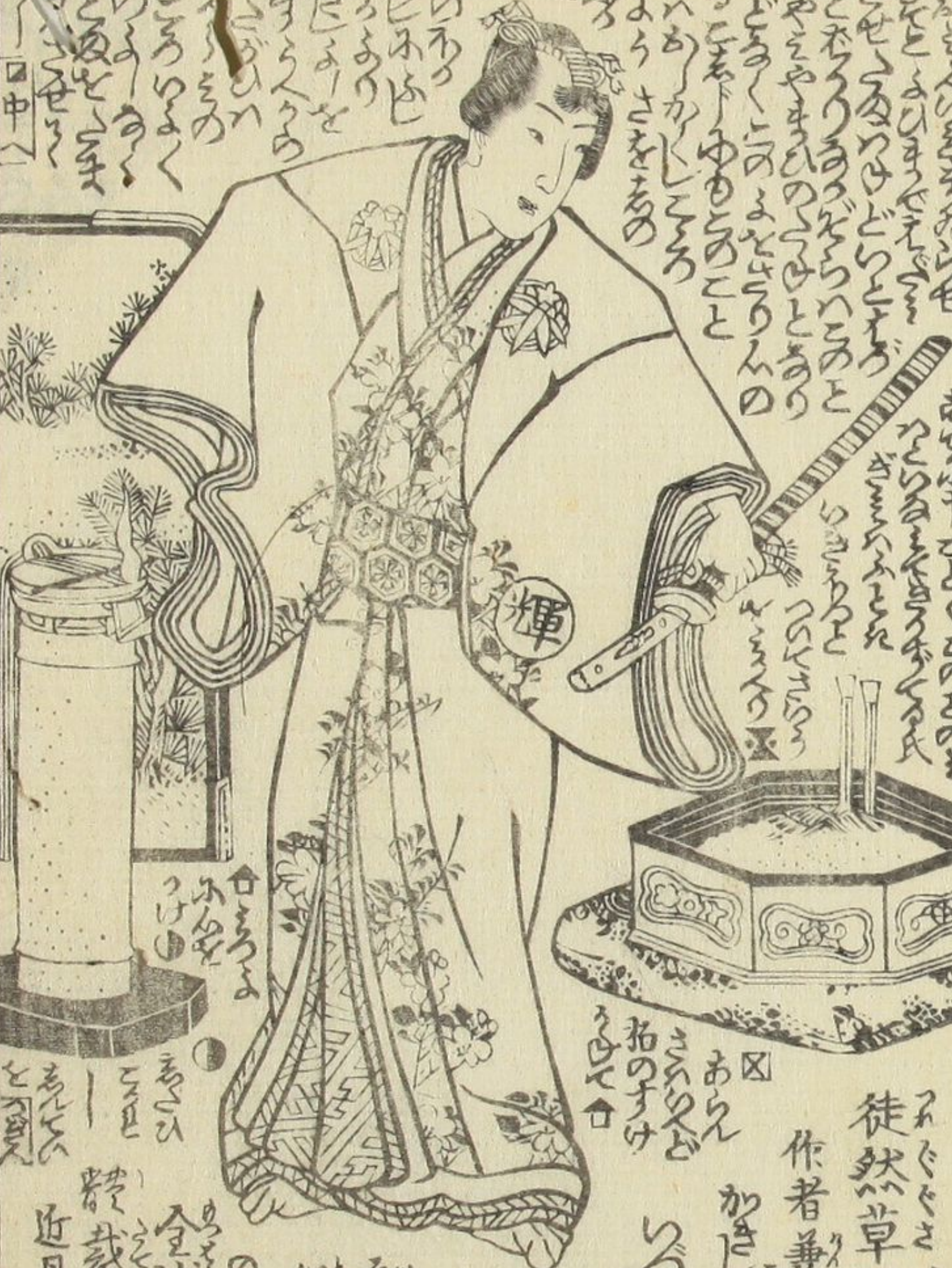
三のり... 四のり... 五のり... 六のり... 七のり... 八のり... 九のり... 十のり... 十一のり... 十二のり... 十三のり... 十四のり... 十五のり... 十六のり... 十七のり... 十八のり... 十九のり... 二十のり... 二十一のり... 二十二のり... 二十三のり... 二十四のり... 二十五のり... 二十六のり... 二十七のり... 二十八のり... 二十九のり... 三十のり... 三十一のり... 三十二のり... 三十三のり... 三十四のり... 三十五のり... 三十六のり... 三十七のり... 三十八のり... 三十九のり... 四十のり... 四十一のり... 四十二のり... 四十三のり... 四十四のり... 四十五のり... 四十六のり... 四十七のり... 四十八のり... 四十九のり... 五十のり... 五十一のり... 五十二のり... 五十三のり... 五十四のり... 五十五のり... 五十六のり... 五十七のり... 五十八のり... 五十九のり... 六十のり... 六十一のり... 六十二のり... 六十三のり... 六十四のり... 六十五のり... 六十六のり... 六十七のり... 六十八のり... 六十九のり... 七十のり... 七十一のり... 七十二のり... 七十三のり... 七十四のり... 七十五のり... 七十六のり... 七十七のり... 七十八のり... 七十九のり... 八十のり... 八十一のり... 八十二のり... 八十三のり... 八十四のり... 八十五のり... 八十六のり... 八十七のり... 八十八のり... 八十九のり... 九十のり... 九十一のり... 九十二のり... 九十三のり... 九十四のり... 九十五のり... 九十六のり... 九十七のり... 九十八のり... 九十九のり... 百のり...



種秀作
画
名家
合作

四

三のり... 四のり... 五のり... 六のり... 七のり... 八のり... 九のり... 十のり... 十一のり... 十二のり... 十三のり... 十四のり... 十五のり... 十六のり... 十七のり... 十八のり... 十九のり... 二十のり... 二十一のり... 二十二のり... 二十三のり... 二十四のり... 二十五のり... 二十六のり... 二十七のり... 二十八のり... 二十九のり... 三十のり... 三十一のり... 三十二のり... 三十三のり... 三十四のり... 三十五のり... 三十六のり... 三十七のり... 三十八のり... 三十九のり... 四十のり... 四十一のり... 四十二のり... 四十三のり... 四十四のり... 四十五のり... 四十六のり... 四十七のり... 四十八のり... 四十九のり... 五十のり... 五十一のり... 五十二のり... 五十三のり... 五十四のり... 五十五のり... 五十六のり... 五十七のり... 五十八のり... 五十九のり... 六十のり... 六十一のり... 六十二のり... 六十三のり... 六十四のり... 六十五のり... 六十六のり... 六十七のり... 六十八のり... 六十九のり... 七十のり... 七十一のり... 七十二のり... 七十三のり... 七十四のり... 七十五のり... 七十六のり... 七十七のり... 七十八のり... 七十九のり... 八十のり... 八十一のり... 八十二のり... 八十三のり... 八十四のり... 八十五のり... 八十六のり... 八十七のり... 八十八のり... 八十九のり... 九十のり... 九十一のり... 九十二のり... 九十三のり... 九十四のり... 九十五のり... 九十六のり... 九十七のり... 九十八のり... 九十九のり... 百のり...



徒然草圖會大五冊
作者兼好の履歴に
加し心操本文小
りる人物の傳
地の沿革
有職故実
大とづく
平假名をて曲小
様あつて極細密
の画と指圖に
全地書の家令の
繪裁小倣小
近日
東

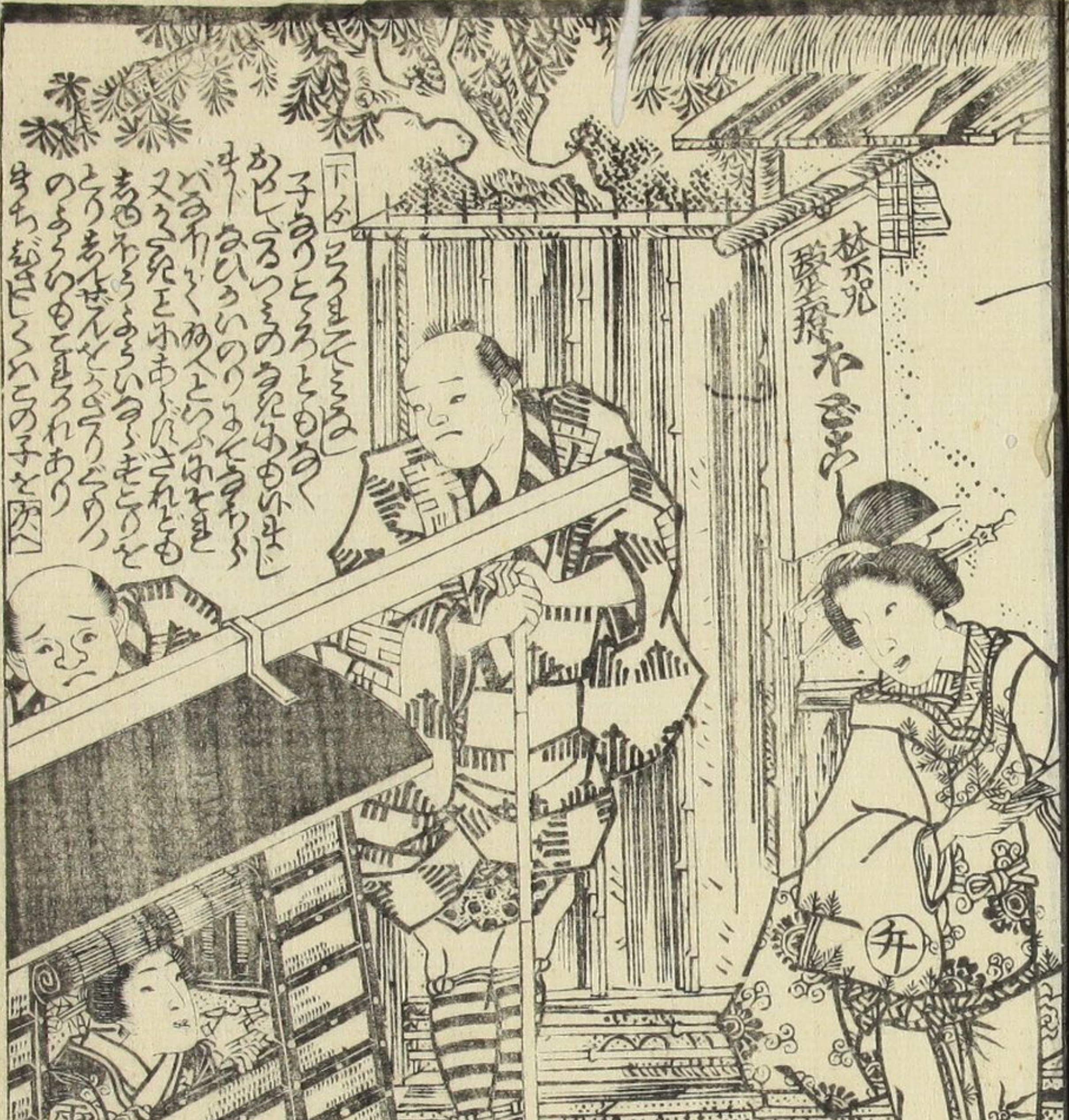






島城座番
 ういそふあつ
 つのてらつて
 さりしんた
 きんせんめき
 をよせてん
 ういそと
 さのゆ
 えゆゆ
 ころあ
 うらあ
 日る

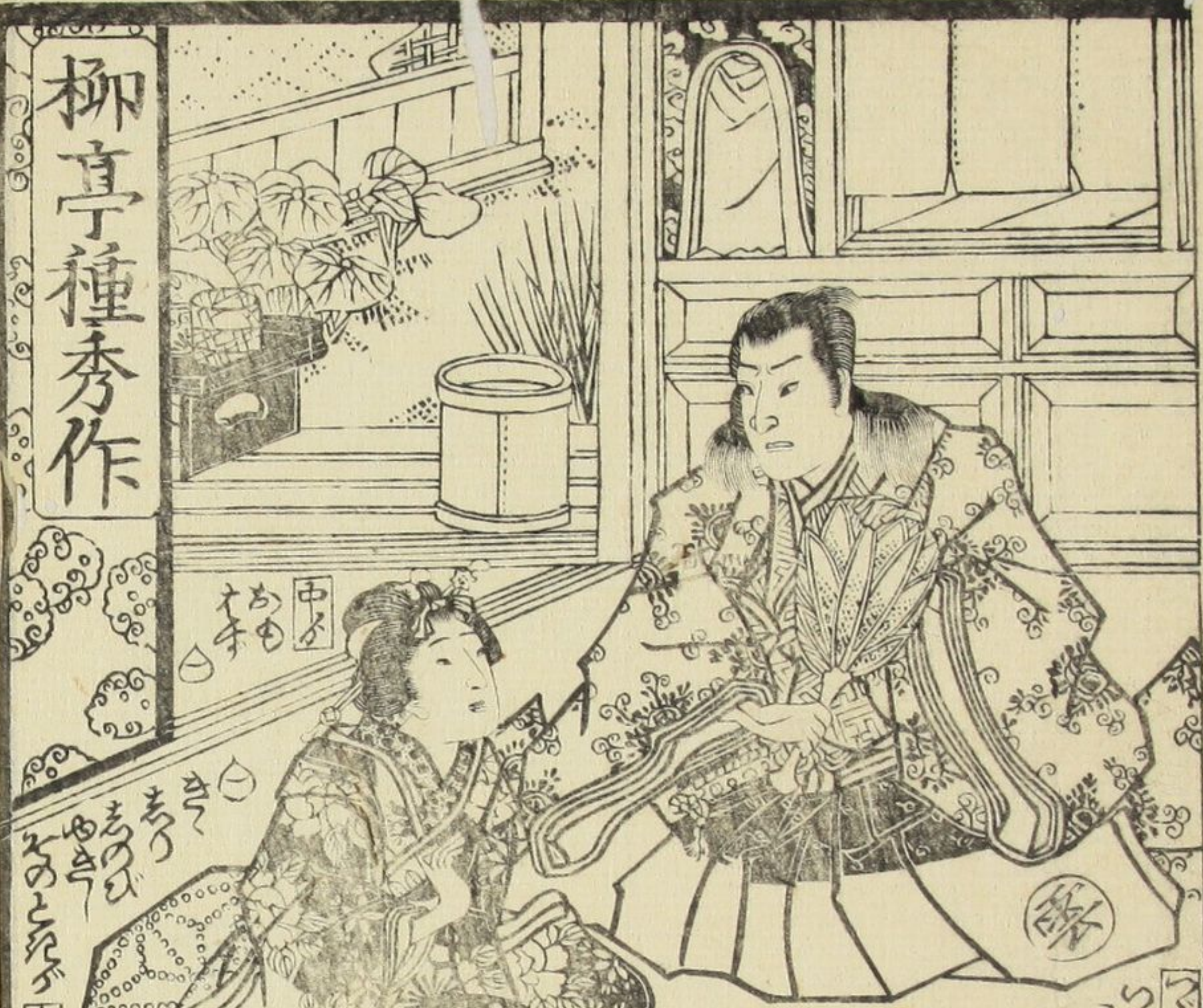
△太一
 をうま
 りんさ
 りりろに
 そわすりの
 うねぞろ
 かまきり
 おのひき
 たるあ
 ころあ
 ちのち
 小ゆま
 りんさ
 りりろに



禁苑 水ざり
 下ふ
 子ありと
 あし
 だつ
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と
 はん
 と

△六
 りんさ
 りりろに
 そわすりの
 うねぞろ
 かまきり
 おのひき
 たるあ
 ころあ
 ちのち
 小ゆま
 りんさ
 りりろに

本第十五



柳亭種秀作

上
下
國貞画

樂亭西馬作
六編
稻妻形怪鼠標子
出板
一勇齋國芳画
七編

比異 二個
仕立
四編
五編

安政七年庚申孟春新刻

芳紅糸
國貞画
種 清録
全三編後切

壽笑亭笑壽作
五編
與謝武郎戀夜話
一壽齋國貞画
六編

錦昇堂
名びよやん

